

授業科目名	国際英語	単位数	2単位
担当教員名	原隆幸	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>「国際英語」が指す内容とその関連領域にも触れながら理解を深め、国際英語に関する背景的な知識を身に付ける。</p>			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際英語」が指す内容だけではなく、国際英語に関連する領域（異文化リテラシー、グローバル人材など）にも触れながら知識を身に付ける。 ・国際英語とどのように接していったらいいのかを考察し、理解を深める。 			
<p>授業計画</p> <p>第1回：英語の国際化と多様性、英語の多様性にどう対処するか 第2回：「国際共通語としての英語」の社会的意義 第3回：「言語」の多様性と「言語機能」の多様性 第4回：英語の諸相 第5回：アクセントと言語態度、英語の多様性と共通性 第6回：異文化間リテラシーとメタファー 第7回：ことばと社会・文化 第8回：いろいろな英語 第9回：中国の英語事情 第10回：「円滑なコミュニケーション」の前提 第11回：対話としての英語コミュニケーション 第12回：言語コミュニケーション力の評価 第13回：「国際共通語としての英語」の学び方 第14回：日本企業と国際言語としての英語、日本社会と英語 第15回：グローバル人材の言語力</p>			
<p>スクーリングでの学修</p>			
<p>テキスト</p> <p>(1) 本名信行 (2013) 『国際言語としての英語：文化を越えた伝え合い』 富山房インターナショナル、978-4-905194-56-9 (2) 柴田美紀、仲潔、藤原康弘 (2020) 『英語教育のための国際英語論：英語の多様性と国際共通語の視点から』 大修館書店、978-4-469-24642-1</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>必要な場合は別途提示する</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）</p>			